



2020年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月15日

上場会社名 朝日インテック株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 7747 URL <http://www.asahi-intecc.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)宮田昌彦
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)伊藤瑞穂 (TEL) (0561)-48-5551
 四半期報告書提出予定日 2020年5月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年6月期第3四半期の連結業績(2019年7月1日~2020年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|--------|------|--------|------|--------|------|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2020年6月期第3四半期 | 45,407 | 6.2 | 12,366 | △4.3 | 12,381 | △4.0 | 9,278 | △6.6 |
| 2019年6月期第3四半期 | 42,764 | 11.5 | 12,919 | 5.0 | 12,897 | 5.4 | 9,934 | 9.7 |

(注) 包括利益 2020年6月期第3四半期 8,456百万円 (△17.5%) 2019年6月期第3四半期 10,250百万円 (9.0%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年6月期第3四半期 | 35.64 | 35.45 |
| 2019年6月期第3四半期 | 38.29 | 38.05 |

(注) 当社は、2019年7月1日付けで普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2020年6月期第3四半期 | 89,712 | 71,168 | 79.3 |
| 2019年6月期 | 84,358 | 65,450 | 77.6 |

(参考) 自己資本 2020年6月期第3四半期 71,140百万円 2019年6月期 65,422百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2019年6月期(分割前) (ご参考) | — | 0.00 | — | 21.61 | 21.61 |
| 2019年6月期(分割後) | — | 0.00 | — | 10.81 | 10.81 |
| 2020年6月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 2020年6月期(予想) | — | — | — | 8.62 | 8.62 |

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2 当社は、2019年7月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しており、2019年6月期の1株当たり配当金については、株式分割前の金額を記載しております。

3. 2020年6月期の連結業績予想（2019年7月1日～2020年6月30日）

（％表示は、対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|------|--------|-------|--------|-------|-----------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 56,207 | △1.8 | 11,940 | △21.3 | 11,965 | △19.3 | 8,977 | △20.1 | 34.48 |

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規 2社（社名）ASAHI INTECC EUROPE B.V.、ASAHI INTECC CIS LLC、除外 — 社（社名）

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

| | | | |
|------------------|--------------|------------|--------------|
| 2020年6月期3Q | 260,526,400株 | 2019年6月期 | 260,268,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 7,878株 | 2019年6月期 | 7,804株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 260,365,906株 | 2019年6月期3Q | 259,417,326株 |

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

（注）当社は、2019年7月1日付けで普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。このため、発行済株式数（普通株式）については、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (会計方針の変更) | 8 |
| (セグメント情報等) | 9 |
| 3. その他 | 10 |
| (1) 地域ごとの情報 | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、5か年の中期経営計画「『ASAHI Road to 1000』～Only One技術で強固なグローバルニッチ No. 1を目指す～」に基づき、連結売上高1,000億円達成に向けた事業ポートフォリオの構築として、「グローバル市場の戦略的な開拓と患部・治療領域の拡大」を推進することで、これまでの基本戦略の集大成を図り、既存事業の収益基盤を強化して参ります。また、将来に向けた成長への投資を継続することにより「グローバルニッチ市場における新規事業の創出」を実現し、グローバルニッチ市場における当社のプレゼンスの強化と企業価値の一層の向上を目指し、その成長戦略を支えるためのビジネス基盤として、「グローバル展開に最適な研究開発・生産体制の構築」を進めるとともに「持続的成長に向けた経営基盤の確立」を図ってまいりたいと考えております。本計画では、連結売上高1,000億円に至るマイルストーンとして、2023年6月期に連結売上高800億円を達成することを目標とし、当該時点での営業利益率は25%を目途としております。

その実現に向けた施策として、当第3四半期連結累計期間では、新製品としてニッケルチタンハイブリッドのPTCAガイドワイヤー「MINAMO（ミナモ）」や脳血管系バルーン付ガイディングカテーテル「Branchor（ブランカー）」の販売を開始いたしました。また、販売・マーケティング活動強化のために、フランスにおける直接販売の段階的開始や、韓国の直接販売化の決定、EU現地法人（ASAHI INTECC EUROPE B.V.）・ロシア現地法人（ASAHI INTECC CIS LLC）の設立、中国市場での朝日英達科貿（北京）有限公司/広州事務所の開設などを実施いたしました。また、コーポレート・ガバナンス体制の強化の一環として、報酬諮問委員会の設立を行っております。今後におきましても、中期経営計画に基づく成長戦略を着実に進めていくことにより、企業価値の拡大を目指してまいります。

なお現在、新型コロナウイルス感染症の影響により、グローバル規模で、血管内カテーテル治療の症例数が減少傾向にあり、市場規模が一時的に縮小しております。当社主力製品のPTCAガイドワイヤーが使用されるPCI治療は、2020年1～2月におきましては、中国市場など限定的な地域のみ減少しておりましたが、3月以降におきましては、日本・米国・欧州中近東・アジア市場など、グローバル規模で症例数の減少が生じており、不透明な状況が続いております。詳細につきましては、2020年5月15日公表「2020年6月期 業績予想と配当予想の修正に関するお知らせ」及び「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

そのような状況の中、当社グループの当第3四半期連結累計期間における売上高は、円高の為替動向や医療償還価格の下落、新型コロナウイルス感染症の影響による中国市場の一時的な規模縮小など、厳しい外部環境があるものの、特にメディカル事業の海外向け売上高が増加し、454億7百万円（前年同期比6.2%増）となりました。

売上総利益は、好調な受注に伴い、310億68百万円（同2.9%増）となりました。

営業利益は、売上総利益が増加したものの、米国や中国市場を中心とした販売・マーケティングの強化に伴う営業関係費用や、開発強化のための研究開発費、組織体制強化のための人件費の増加などにより、販売費及び一般管理費が増加し、123億66百万円（同4.3%減）となりました。

経常利益は、為替差損が減少したものの、営業利益の減少により123億81百万円（同4.0%減）となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、補助金収入が増加したものの、RetroVascular, Inc.（現、ASAHI Medical Technologies, Inc.）株式の取得に伴う段階取得に係る差益の減少や営業補償金の発生により、92億78百万円（同6.6%減）となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間における外国為替レート実績は、下記となります。

1 米ドル＝108.37円（前年同期111.58円、比2.9%減）

1 ユーロ＝119.96円（前年同期127.93円、比6.2%減）

1 中国元＝15.45円（前年同期16.34円、比5.4%減）

1 タイバーツ＝3.53円（前年同期3.44円、比2.6%増）

セグメントごとの経営業績は次のとおりであります。

(メディカル事業)

メディカル事業は、海外市場を中心に、順調に推移いたしました。国内市場においては、消費税増税に伴う医療償還価格の下落や、安定狭窄症に対する施術要件の厳格化を背景とした症例数の減少などがありましたが、非循環器系領域の脳血管系バルーン付ガイディングカテーテルなどが順調に推移したことなどから、売上高は増加いたしました。海外市場においては、循環器系領域のPTCAガイドワイヤーが米国を中心に増加したことや、中国市場において、新製品投入に伴い循環器系領域のPTCAガイディングカテーテルや、非循環器系の腹部血管系マイクロカテーテルが増加したことなどから、売上高は増加いたしました。なお、中国市場においては、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、血管内治療の症例数は減少傾向にありますが、当第3四半期会計期間においては販売代理店からの要請に基づき出荷を継続しており、売上高の減少は市場症例数には比例せず、限定的なマイナス影響に留まっております。

以上の結果、売上高は385億83百万円(前年同期比6.7%増)となりました。

また、セグメント利益は、売上高が増加したものの、営業関係費用及び研究開発費の増加などにより販売費及び一般管理費が増加したため、120億71百万円(同6.5%減)となりました。

(デバイス事業)

デバイス事業は、産業部材が減少したものの、医療部材が順調なため、増加いたしました。医療部材については、国内市場の新規分野への試作取引や海外市場の米国向け循環器系検査用カテーテル部材の取引が増加するなどし、売上高は増加いたしました。産業部材につきましては、国内市場のOA機器関係取引が増加したものの、海外市場の自動車関係取引が大きく減少したことなどから、売上高が減少いたしました。

以上の結果、売上高は68億24百万円(前年同期比3.1%増)となりました。

また、セグメント利益は、外部売上高やセグメント間取引が増加したため、27億6百万円(同17.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、総資産額が897億12百万円となり、前連結会計年度末に比べ53億53百万円増加しております。主な要因は、有形固定資産が32億99百万円、仕掛品が11億38百万円それぞれ増加したことによるものであります。

負債につきましては、負債合計額が185億43百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億64百万円減少しております。主な要因は、未払法人税等が5億31百万円、賞与引当金が3億24百万円それぞれ増加した一方、その他(流動負債)が13億33百万円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、純資産合計額が711億68百万円となり、前連結会計年度末に比べ57億18百万円増加しております。主な要因は、利益剰余金が64億31百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間の売上高・営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益は、売上高の増加や、販売費及び一般管理費の使用の遅延を主要因とし、当初予想に比べて好調に推移いたしました。第3四半期会計期間中より、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、血管内カテーテル治療件数がグローバル規模にて減少傾向にあり、売上高が急速に減少する傾向にあります。それら最近の業績動向等を踏まえ、2020年6月期通期予想の見直しを行っております。詳細は、2020年5月15日公表の「2020年6月期業績予想と配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、上記業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくため、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2019年6月30日) | 当第3四半期連結会計期間 (2020年3月31日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 18,777,900 | 18,338,856 |
| 受取手形及び売掛金 | 8,727,388 | 8,683,158 |
| 電子記録債権 | 1,396,678 | 1,519,513 |
| 商品及び製品 | 3,557,304 | 4,064,415 |
| 仕掛品 | 5,203,943 | 6,342,673 |
| 原材料及び貯蔵品 | 5,304,672 | 5,349,148 |
| その他 | 2,881,606 | 3,130,094 |
| 貸倒引当金 | △25,446 | △63,719 |
| 流動資産合計 | 45,824,048 | 47,364,141 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 12,846,529 | 13,228,353 |
| その他（純額） | 16,599,466 | 19,516,854 |
| 有形固定資産合計 | 29,445,996 | 32,745,208 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 2,849,825 | 2,737,363 |
| その他 | 1,686,321 | 1,984,185 |
| 無形固定資産合計 | 4,536,147 | 4,721,548 |
| 投資その他の資産 | 4,552,757 | 4,881,904 |
| 固定資産合計 | 38,534,901 | 42,348,661 |
| 資産合計 | 84,358,949 | 89,712,802 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2019年6月30日) | 当第3四半期連結会計期間 (2020年3月31日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,992,543 | 1,894,283 |
| 電子記録債務 | 218,788 | 479,791 |
| 短期借入金 | 3,155,183 | 3,002,971 |
| 未払法人税等 | 1,580,660 | 2,111,686 |
| 賞与引当金 | 547,610 | 872,599 |
| その他 | 5,126,946 | 3,793,926 |
| 流動負債合計 | 12,621,732 | 12,155,259 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 2,862,522 | 2,750,068 |
| 役員退職慰労引当金 | 23,345 | 23,345 |
| 退職給付に係る負債 | 1,365,824 | 1,456,807 |
| その他 | 2,034,982 | 2,158,516 |
| 固定負債合計 | 6,286,674 | 6,388,737 |
| 負債合計 | 18,908,407 | 18,543,996 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 6,327,838 | 6,394,263 |
| 資本剰余金 | 9,249,701 | 9,293,501 |
| 利益剰余金 | 47,134,631 | 53,566,074 |
| 自己株式 | △6,804 | △7,004 |
| 株主資本合計 | 62,705,366 | 69,246,834 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 916,505 | 912,002 |
| 為替換算調整勘定 | 1,880,488 | 1,043,492 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △80,287 | △61,961 |
| その他の包括利益累計額合計 | 2,716,705 | 1,893,534 |
| 新株予約権 | 5,530 | 4,722 |
| 非支配株主持分 | 22,939 | 23,714 |
| 純資産合計 | 65,450,541 | 71,168,805 |
| 負債純資産合計 | 84,358,949 | 89,712,802 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自2018年7月1日 至2019年3月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自2019年7月1日 至2020年3月31日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 42,764,786 | 45,407,214 |
| 売上原価 | 12,574,949 | 14,338,446 |
| 売上総利益 | 30,189,836 | 31,068,767 |
| 販売費及び一般管理費 | 17,269,989 | 18,702,322 |
| 営業利益 | 12,919,846 | 12,366,445 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 23,975 | 12,598 |
| 受取配当金 | 24,735 | 22,596 |
| その他 | 131,281 | 59,683 |
| 営業外収益合計 | 179,992 | 94,879 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 43,692 | 50,011 |
| 為替差損 | 74,790 | 14,757 |
| その他 | 84,120 | 15,344 |
| 営業外費用合計 | 202,603 | 80,112 |
| 経常利益 | 12,897,235 | 12,381,212 |
| 特別利益 | | |
| 段階取得に係る差益 | 400,822 | - |
| 補助金収入 | - | 959,797 |
| 新株予約権戻入益 | 25 | - |
| 特別利益合計 | 400,847 | 959,797 |
| 特別損失 | | |
| 投資有価証券評価損 | - | 191,136 |
| 営業補償金 | - | 239,100 |
| その他 | - | 78,198 |
| 特別損失合計 | - | 508,434 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 13,298,083 | 12,832,574 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 3,241,158 | 3,826,369 |
| 法人税等調整額 | 122,273 | △273,208 |
| 法人税等合計 | 3,363,431 | 3,553,161 |
| 四半期純利益 | 9,934,651 | 9,279,413 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 576 | 751 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 9,934,075 | 9,278,662 |

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 9,934,651 | 9,279,413 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △419,905 | △4,502 |
| 為替換算調整勘定 | 729,606 | △836,995 |
| 退職給付に係る調整額 | 6,113 | 18,326 |
| その他の包括利益合計 | 315,814 | △823,171 |
| 四半期包括利益 | 10,250,465 | 8,456,241 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 10,249,889 | 8,455,490 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 576 | 751 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(国際財務報告基準16号「リース」)

国際財務報告基準を適用している在外連結子会社において、第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースについて資産及び負債として計上するとともに、投資その他の資産に含めていた一部の資産について有形固定資産に振替を行っております。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に計上しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の有形固定資産の「その他」が976,570千円、流動負債の「その他」が58,146千円、固定負債の「その他」が364,837千円それぞれ増加し、投資その他の資産が593,158千円減少しております。当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注1) | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注2) |
|-----------------------|------------|-----------|------------|-------------|-------------------------------|
| | メディカル事業 | デバイス事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 36,144,821 | 6,619,964 | 42,764,786 | — | 42,764,786 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 45,606 | 2,646,030 | 2,691,636 | △2,691,636 | — |
| 計 | 36,190,428 | 9,265,994 | 45,456,422 | △2,691,636 | 42,764,786 |
| セグメント利益 | 12,907,082 | 2,303,914 | 15,210,996 | △2,291,150 | 12,919,846 |

(注) 1 セグメント利益の調整額△2,291,150千円は、セグメント間取引消去と各報告セグメントに配分していない
 全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注1) | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注2) |
|-----------------------|------------|------------|------------|-------------|-------------------------------|
| | メディカル事業 | デバイス事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 38,583,014 | 6,824,200 | 45,407,214 | — | 45,407,214 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 57,144 | 3,194,584 | 3,251,728 | △3,251,728 | — |
| 計 | 38,640,158 | 10,018,784 | 48,658,943 | △3,251,728 | 45,407,214 |
| セグメント利益 | 12,071,203 | 2,706,802 | 14,778,006 | △2,411,560 | 12,366,445 |

(注) 1 セグメント利益の調整額△2,411,560千円は、セグメント間取引消去と各報告セグメントに配分していない
 全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他

(1) 地域ごとの情報

売上高

(単位：千円)

| 日本 | 米国 | 欧州・中近東 | 中国 | アジア | その他 | 合計 |
|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|
| 14,167,717 | 9,424,800 | 8,130,889 | 7,031,331 | 5,175,118 | 1,477,357 | 45,407,214 |